

(様式第1号)

「積極的な海外展開を行う企業 Toward The Global Niche Tops in NARA」

認定申請書

平成28年10月31日

公益財団法人奈良県地域産業振興センター

理事長 荒井 正吾 殿

所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇

奈良市〇〇町×番地

企業名 奈良商工株式会社

代表者 代表取締役 奈良 太郎

印

担当者部署・役職・氏名

専務取締役 奈良 次郎

(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX ××××-×××-××××)

メール △△△@nara.co.jp)

積極的な海外展開を行う企業紹介冊子（英語版）「Toward The Global Niche Tops in NARA」掲載企業募集要綱第3条に基づき、認定を受けたいので、関係書類を添えて申し込みます。

1 企業概要

業種	電気機械器具製造業
創業年	1968 年 4 月
設立年	1975 年 4 月
資本金	10,000 千円
従業員数	50 人（内正社員 35 人、パート・臨時 15 人）
年商	500 百万円

2 主な製造技術（製品）名（※要綱第 2 条（2）の要件に該当しない場合は記入）

〇〇〇〇製造技術

3 主な製造技術（製品）の概要（※要綱第 2 条（2）の要件に該当しない場合は記入）

技術説明（製造技術・製品の内容について説明してください）

【技術内容】  
〇〇〇〇を、最小穴径 3 μm、寸法精度 ±0.1 μm で △△△ 加工法により製造する技術。

【技術の用途と機能】

- ・ □□□□ や、★★★★ 等 ◇◇◇◇ 装置に応用。

PR したい技術の名前を記載してください。

4 主な製造技術（製品）の特徴・強み（※要綱第 2 条（2）の要件に該当しない場合は記入）

（1）独自性・先進性（国内外の業界における自社技術の優位性を、具体的に説明してください）

- ・ 〇〇材を穴径 3 μm で、寸法精度 ±0.1 μm 以下に △△△ 加工する技術は国内でもトップクラス。  
特に △△△ 加工法で、寸法精度 ±0.1 μm 以下を実現する技術は、国内で当社が最も優れている。

（2）同業他社製造技術（製品）との具体的比較（最も類似した他社製造技術・製品と自社製造技術・製品とを比較してください）

【同業他社】

- ・ 〇〇〇〇、△△△△、□□□□ など数社。

【他社比較】

- ・ 他社製 〇〇〇〇 は、最小穴径が 10 μm であり、当社の最小穴径 3 μm を実現できる技術はない。同業他社では ◎◎◎ 社が最小穴径 5 μm を達成しているが、加工精度は ±0.5 μm と低く、当社技術に及ばない。

（3）主な製造技術（製品）の産業財産権（特許権・意匠権など）の取得状況（登録番号・出願日・名称・権利範囲）

（出願中の場合はその旨を記入して下さい）

- ・ 特許権等は保有せず、自社製造ノウハウとして蓄積。

5 市場実績（※要綱第2条（2）の要件に該当しない場合は記入）

販売実績（主な製造技術が利用された製品の概要と、その販売数量、金額、市場シェア等）

■製品概要

- ・〇〇〇〇を応用した△△△△

■販売実績

PRしたい技術を活用した製品の販売実績・シェアを記載してください。

年度	販売数量	販売額	シェア
2016年度	300万個	300,000千円	15%
2015年度	250万個	250,000千円	15%
2014年度	200万個	200,000千円	15%

6 経営理念（※要綱第2条（2）の要件に該当しない場合は記入）

■経営理念

環境共生と、豊かな未来を両立する高精度技術の創造

■事業方針

自社技術である〇〇〇〇を活かし、高精度の△△△△を製作し、さまざまな分野に貢献する

7 ものづくり力（※要綱第2条（2）の要件に該当しない場合は記入）

（1）ものづくり体制（開発・製造・販売・サービスの管理体制と担当人員数）

■ものづくり体制の特長

- ・開発部長（取締役）を責任者としたものづくり体制により、お客様のニーズを満足する商品・技術開発を推進。

■人員配置

- ・開発部門：〇〇名、製造部門：〇〇名、販売・サービス部門：〇〇名  
その他（一般）：〇〇名

（2）主な製造設備

- ・CO2レーザー加工機、YAG溶接機、三次元測定器等

（3）その他（認証取得など）

- ・認証取得：ISO14000/H10年、ISO9000/H元年

8 主な製造技術（製品）を活かした今後の成長戦略

（※要綱第2条（2）の要件に該当しない場合は記入）

（自事業の成長戦略を、第二創業など新分野進出なども含めて具体的な内容で記入してください）

■成長の為の商品・技術開発計画

- ・平成〇年に製品化した〇〇〇〇のさらなる微細加工技術の開発により、穴径1 $\mu$ m、寸法精度 $\pm 0.05\mu$ mの実用化をはかる。

■事業展開

- ・高精度微細穴加工技術の高度化により $\Delta\Delta\Delta\Delta$ 市場への進出を改革する $\Delta\Delta\Delta\Delta$ 事業を創出する。

■販売目論見（1年後及び3～5年後の予測）

- ・2017年（1年後）：20,000千円
- ・20 $\times$ X年（3～5年後）：150,000千円

国内の新事業のみの計画について記載してください。

9 海外展開に関する実施体制、実績、今後の事業計画（要綱第2条（1）関連）

（該当する項目に☑をお願いします。※①は必須）

- ①海外との商取引を行う体制が整っている（下記いずれかに該当すること）
  - a. 英語等、外国語の顧客対応が可能な人材が在籍している
  - b. 海外の顧客や仕入などに対応できる協力会社（商社など）が存在する
  - c. 外国語版のホームページがある
- ②：海外に展開している（販路がある、販売実績がある、生産拠点があるなど。）
- ③：海外展開に係る認定事業計画、又は海外顧客向けのマーケティング等に基づいた具体的計画を有している

以下☑のある項目について下記に詳細をご記入ください。

①海外との商取引を行う体制

（1）体制（担当部署名・担当者名・担当人員数など）

海外営業部 1名 担当：鈴木

（2）協力会社の名称等

〇〇商事（東京都港区）

〇〇貿易（兵庫県神戸市）

（3）外国語版ホームページアドレス

http://www.〇〇〇.〇〇

## ②海外展開の実績

### (1) 販売実績（販売実績がある場合）

■主な製品：半導体電子部品（品名：○○○）

■出荷先（国名）：台湾

年度	販売数量	販売金額
2016年度	70万個	70,000千円
2015年度	10万個	10,000千円
2014年度	一個	－千円

### (2) 生産実績（生産拠点がある場合）

■主な製品：半導体電子部品（品名：○○○）

■生産拠点（国名）：タイ

年度	生産数量	生産金額
2016年度	250万個	175,000千円
2015年度	30万個	21,000千円

海外での販売・生産実績について記載してください。

## ③今後、海外展開するにあたっての計画

下記(1)～(3)のうち1つ以上の項目について記述してください。

### (1) 販売計画等

■主な製品：半導体電子部品（品名：○○○）

■出荷先（国名）：台湾

年度	販売数量	販売金額
2016年度	100万個	100,000千円
2017年度	120万個	120,000千円
2018年度	150万個	150,000千円

■主な製品：半導体電子部品（品名：○○○）

■出荷先（国名）：香港

年度	販売数量	販売金額
2016年度	30万個	21,000千円
2017年度	50万個	35,000千円
2018年度	70万個	49,000千円

■その他（実現可能性についての裏付けやコメント）

海外での販売見込み等について記載してください。

台湾については、既に引き合いがあり、計画達成の目処がたっている。  
また、今年、香港で10月に開催される electronicAsia2016に出展予定。  
過去の同様の展示会の実績から商談件数に対し1割程度の新規成約を見込んでい  
る。

※過去の展示会への出展と商談状況については別添資料参照

※必要に応じて資料を添付いただいても結構です。

(2) 海外展開のための補助金・助成金等を活用したことがある場合はその実績（もし  
くは海外展開に関して国等の賞を受賞している場合はその内容）

■補助金（賞）の名称

中小企業高度グローバル経営人材育成事業費補助金

■事業計画の名称（タイトル）

A S E A N地域での生産拠点整備に伴う高度人材育成事業

■採択（受賞）年度 平成24年度

■事業計画実施（受賞）後の状況

2014年にタイ（バンコク）に現地法人を設立し生産拠点を整備。

当該事業で育成した人材を現地法人代表者として配置している。

2015年には本格稼働を開始し、現在では2億円弱の生産高となっている。

(3) その他（外国特許取得予定など）

(外国特許)

国名：台湾

①出願番号 ×××××××××

②出願日 △△△△年△月△日（台湾暦 △年）